

みずほCustomer Desk Report 2020/05/29号 (As of 2020/05/28)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

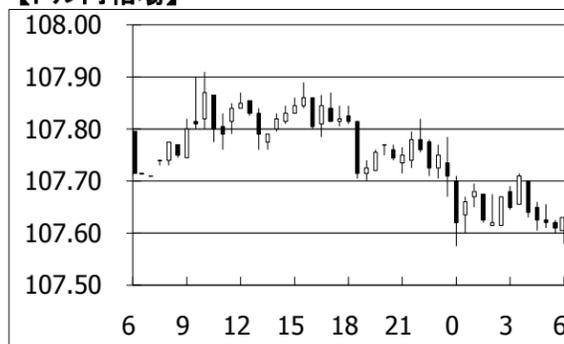
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.92
TKY 9:00AM	107.82	1.1016	118.74	GBP/USD	1.2261
SYD-NY High	107.91	1.1094	119.39	AUD/USD	0.6667
SYD-NY Low	107.58	1.0992	118.50		
NY 5:00 PM	107.63	1.1077	119.15		
NY DOW	25,400.64	-147.63	日本2年債	-0.170	▲1.00bp
NASDAQ	9,368.99	-43.37	日本10年債	0.000	0.00bp
S&P	3,029.73	-6.40	米国2年債	0.17	▲0.99bp
日経平均	21,916.31	497.08	米国5年債	0.34	▲1.27bp
TOPIX	1,577.34	27.87	米国10年債	0.70	0.16bp
シコ日経先物	21,920.00	265.00	独10年債	-0.4200	▲0.35bp
ロンドンFT	6,218.79	74.54	英10年債	0.2100	2.00bp
DAX	11,781.13	123.44	豪10年債	0.8860	▲1.20bp
ハンセン指数	23,132.76	▲168.60	USDJPY 1M Vol	5.19	▲0.06%
上海総合	2,846.22	9.42	USDJPY 3M Vol	5.80	0.05%
NY金	1,728.30	1.50	USDJPY 6M Vol	6.55	0.00%
WTI	33.71	0.90	USDJPY 1M 25RR	-1.10	Yen Call Over
CRB指数	129.76	0.59	EURJPY 3M Vol	7.59	0.19%
ドルインデックス	98.38	▲0.68	EURJPY 6M Vol	8.18	0.22%

【昨日の指標等】

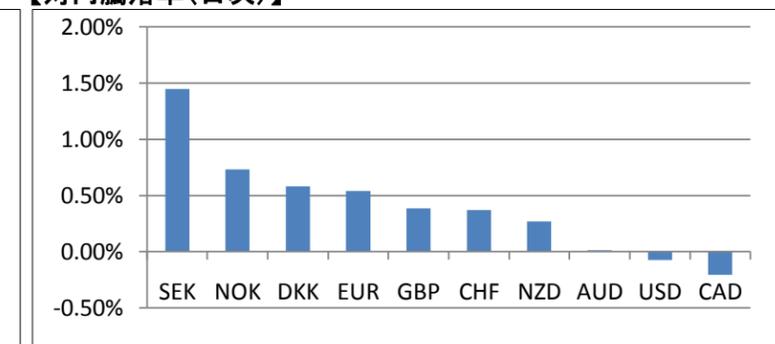
Date	Time	Event	結果	予想
5月28日	18:00	欧 鉱工業信頼感指数	5月 -27.5	-26.5
	21:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	5月 0.0%/0.5%	-0.1%/0.4%
	21:30	米 耐久財受注(前月比)/同(除輸送用機器・前月比)速報	4月 -17.2%/-7.4%	-19.0%/-15.0%
	21:30	米 GDP(年率/前期比)	1Q -5.0%	-4.8%
	21:30	米 個人消費	1Q -6.8%	-7.5%
	21:30	米 コアPCE(前期比)	1Q 1.6%	1.8%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 2123k	2100k

Date	Time	Event	予想	前回
5月29日	18:00	欧 CPI(前月比/前年比)・速報	5月 -0.1%/0.1%	0.3%/0.4%
	21:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	4月 -0.7%	-0.8%
	21:30	米 個人所得/個人支出	4月 -6.0%/-12.8%	-2.0%/-7.5%
	21:30	米 PCEコア(前月比/前年比)	4月 -0.6%/0.5%	-0.3%/1.3%
5月30日	00:00	米 パウエルFRB議長 講演	-	-
5月31日	10:00	中 製造業PMI/非製造業PMI	5月 51.1/53.5	50.8/53.2

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】メキシコペソが潮目が変わる時

2020年に入り、COVID-19の感染拡大による過度なドル調達圧力の高まりや、OPEC+の減産合意決裂のヘッドラインを受けて原油価格が急落するに連れられる格好で、新興国通貨を中心に大幅な下落相場となったことは記憶に新しい。特に騰落率が大きかったのが、メキシコペソである。足許のメキシコの状況を振り返ってみると、メキシコ国営石油公社Pemexの社債利回りは急騰、メキシコ自体のCDSも急上昇の一途を辿っており、大手格付け各社は双方の格付けの引下げや見通しのネガティブ化の動きを見せている。また、メキシコ中央銀行は2020年の実質経済成長率が▲4.6%~▲8.8%になる可能性との悲観的な見解を示し、この水準に落ち込めば▲14%だった世界大恐慌時の1932年以降の悪化幅となる状況。

各国でのロックダウン解除が垣間見え始める中で、メキシコ国内の感染者数・死者数は留まるところを知らず、昨日の1日における増加幅は過去最大となった。一部の自動車工場の操業再開の動きも見られるが、感染拡大の終息が見えない以上は同国経済復活の足枷となる。

直近は、グローバルな経済活動再開による原油需要の回復期待や在庫減少により、原油価格の上昇からメキシコペソ高がじりじりと進行する流れとなったものの、6月に実施予定のOPEC+で減産幅における議論が難航すると一部の報道もあり、雲行きが怪しくなっている。加えて、海外労働者からの送金鈍化による経常収支の悪化も懸念され、今後更なる海外投資家からの資金流出の流れとなる可能性も視野に入れつつ、テクニカル的にも2020年初来からの高値・安値の50%戻し水準である1ドル=22.1340メキシコペソ近辺で反発(下落)する様相を見せているため、メキシコ相場の潮目が変わる時か、目が離せない。(綿引)

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
7	13



当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。